

岩手県感染症週報

平成13年第49週（12月3日～12月9日）

岩手県結核 感染症情報センター

第49週の概要

1 類感染症 / 2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・盛岡地区で腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。病原体の血清型は0-157と0-26が1件ずつで、いずれも散発例で感染源は不明です。

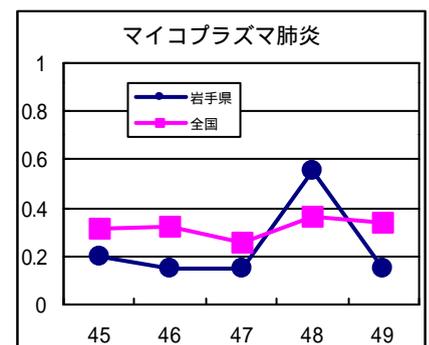
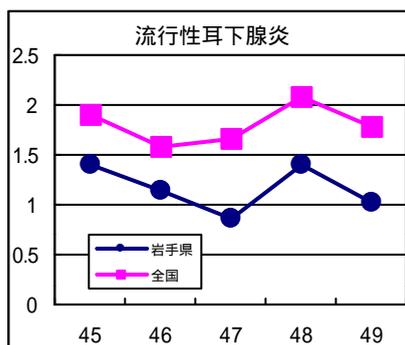
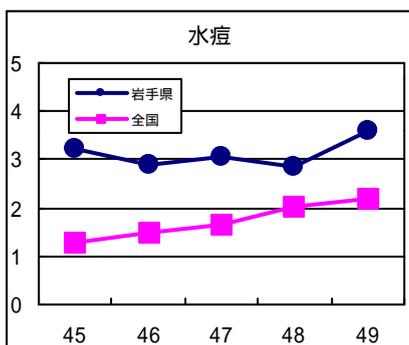
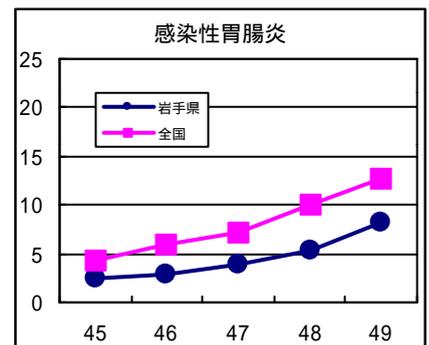
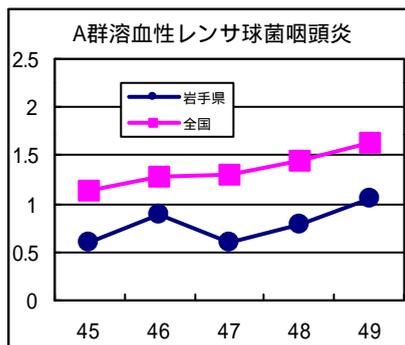
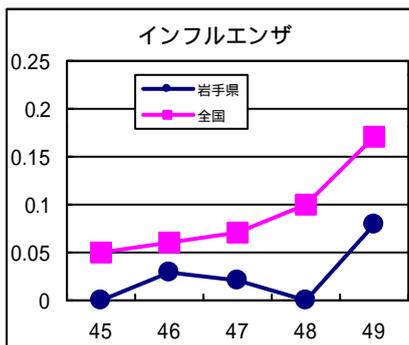
4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・盛岡地区で孤発生のクロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1件ありました。
- ・盛岡地区で後天性免疫不全症候群の報告が1件ありました。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は引き続き北上地区と久慈地区で患者数が多く、流行が続いています。
- ・感染性胃腸炎が5週続けて増加しています。特に盛岡、花巻、北上の県央地区で増えています。例年、寒くなるにつれて流行が始まり、冬季にピークとなるので、これから注意が必要です。感染の予防にはよく手を洗うことが大切です。「今注目の感染症」
- ・水痘は、引き続き北上地区と久慈地区で患者が多く、流行が続いています。
- ・流行性耳下腺炎が北上地区で増加しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		45	46	47	48	49	
インフルエンザ	岩手県	0	0.03	0.02	0	0.08	→
	全国	0.05	0.06	0.07	0.1	0.17	
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0	0.08	0.08	0.05	→
	全国	0.06	0.06	0.06	0.08	0.07	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.59	0.89	0.59	0.78	1.05	↗
	全国	1.13	1.28	1.3	1.44	1.64	
感染性胃腸炎	岩手県	2.51	2.89	3.92	5.27	8.14	↗
	全国	4.39	5.92	7.07	10.12	12.79	
水痘	岩手県	3.22	2.89	3.05	2.84	3.59	↗
	全国	1.27	1.47	1.67	2.02	2.21	
手足口病	岩手県	0.76	0.62	0.84	0.51	0.11	↘
	全国	0.67	0.63	0.57	0.51	0.47	
伝染性紅斑	岩手県	0.22	0.22	0.22	0.27	0.24	→
	全国	0.26	0.29	0.3	0.32	0.41	
突発性発疹	岩手県	0.43	0.43	0.54	0.59	0.41	→
	全国	0.76	0.76	0.75	0.79	0.79	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.14	0.08	0	0.05	0.03	→
	全国	0.1	0.08	0.08	0.08	0.06	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0.27	0.08	→
	全国	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	
流行性耳下腺炎	岩手県	1.41	1.14	0.86	1.41	1.03	→
	全国	1.91	1.58	1.66	2.09	1.78	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.03	0.02	0.03	0.03	0.04	
流行性角結膜炎	岩手県	1.42	0.92	1.25	1.67	1.17	→
	全国	1.05	0.98	0.96	1.03	1	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.07	0.02	0.03	0.05	0.06	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.2	0.15	0.15	0.55	0.15	→
	全国	0.31	0.32	0.26	0.36	0.34	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0	0	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0	0	0	0.01	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

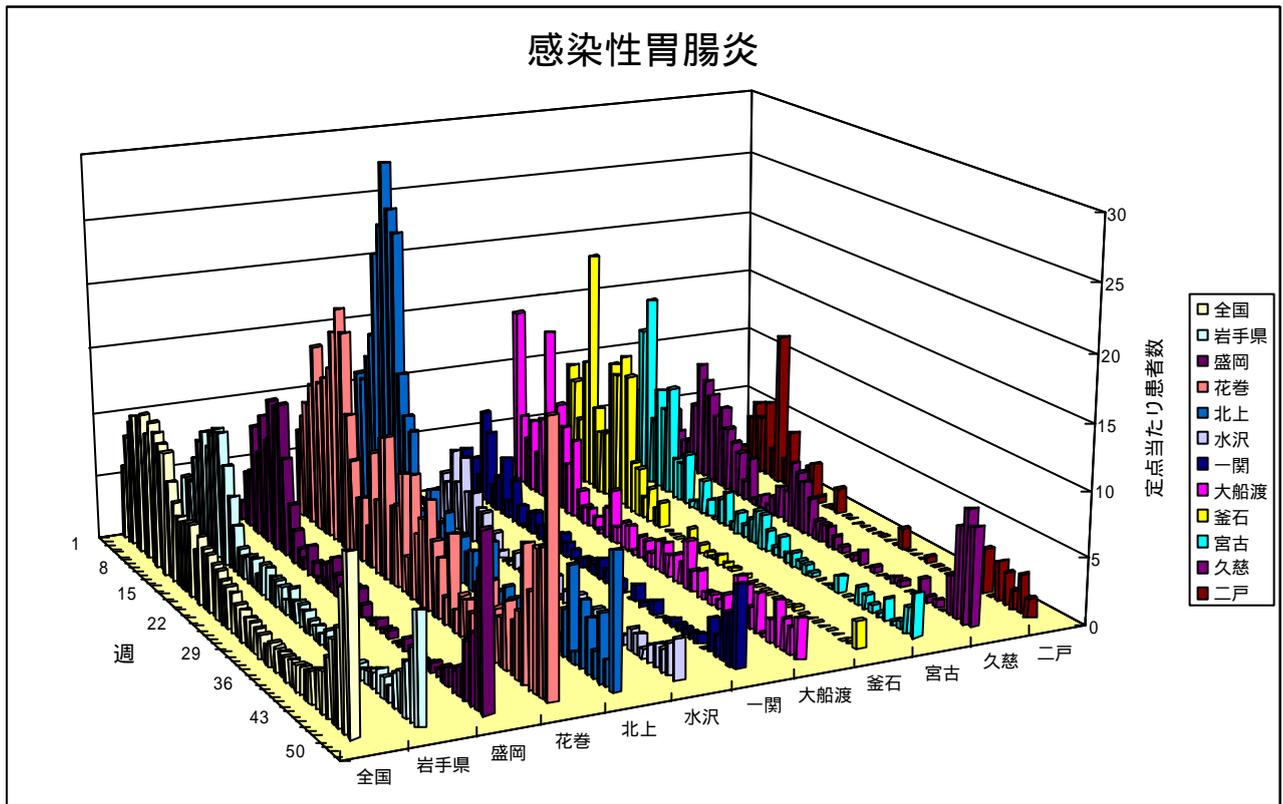
（患者発生数）

分類	疾病名	（週） 岩手県					全国		
		45	46	47	48	49	累計	49	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	48
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	92	681
	腸チフス	0	0	0	0	0	1	0	61
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	19
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	0	1	0	2	86	23	4205
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	4	391
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	12
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	29
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	6	5	846
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	27
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	1	2	4	122
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	41
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	2	12	861
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	127
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	1	1	0	0	0	11	16	380
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	46
	日本紅班熱	0	0	0	0	0	0	0	38
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	5	0	519
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	71
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	43
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	99
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	14	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	0	77	

今注目の感染症

感染性胃腸炎は、単一の疾患を意味するものではなく、多種多様な病原体による胃腸炎を広く包含する症候群です。実際上分類されるのは、カンピロバクター、腸炎ビブリオなどの細菌や、ノーウォーク様ウイルス、ロタウイルスなどのウイルスによるものが中心となります。特に、冬季に小児科での患者が多く、主な病原体はノーウォーク様ウイルス（いわゆる小型球形ウイルス（SRSV）の一種）とロタウイルスといわれています。

感染の予防には、食中毒の一般的な予防法に準じて食品の加熱を徹底すること、流行期には手洗いを励行すること、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。また、ノーウォーク様ウイルスは、感染力が強く、しばしば集団発生を引き起こすので特に注意が必要です。



病原体検出情報

この週に検出された病原体はありません。

集団発生情報

水沢地区の幼稚園で胃腸炎の集団発生 - 病原体はノーウォーク様ウイルス -

水沢保健所管内のM幼稚園において胃腸炎症状を呈する患者が多数発生し、ウイルス検査の結果、患者からノーウォーク様ウイルス（いわゆる小型球形ウイルス（SRSV）の一種）が検出されました。

M幼稚園は園児数117名、職員数14名の施設で、平成13年11月29日から12月1日にかけて19名の胃腸炎症状の患者が発生しました。

患者の症状は下痢症よりも嘔吐症の傾向が強く、各症状の有症率は嘔吐94.7%、嘔気31.6%、下痢42.1%、腹痛89.5%、発熱52.6%、頭痛52.6%でした。患者の糞便及び吐物を検査した結果、患者6名のうち、4名の糞便または吐物からノーウォーク様ウイルス（遺伝子型II型）が検出されました。検出された4株のウイルスはいずれも遺伝子的に同一の株であり、ノーウォーク様ウイルスによる集団発生と判断されました。

感染原因については、当初食中毒も疑われましたが、保健所による調査の結果、M幼稚園では給食は実施しておらず、市販のお菓子や乳飲料等の食品をおやつとして提供しているのみであったことから、今回の事例の感染経路が食品や飲料水を介した感染か、または人から人への感染かは特定することはできませんでした。

ノーウォーク様ウイルスは感染すると下痢、嘔吐、発熱などを引き起こします。いわゆる「おなかにくるカゼ」の原因ともなります。例年、冬季に流行のピークを迎え、非常に感染力が強いのでこれから注意が必要です。 「今注目の感染症」

医療機関からの情報

定点機関で実際に患者さんを診療している先生方からの情報をお待ちしております。

医療現場の生の声をぜひお聞かせください。

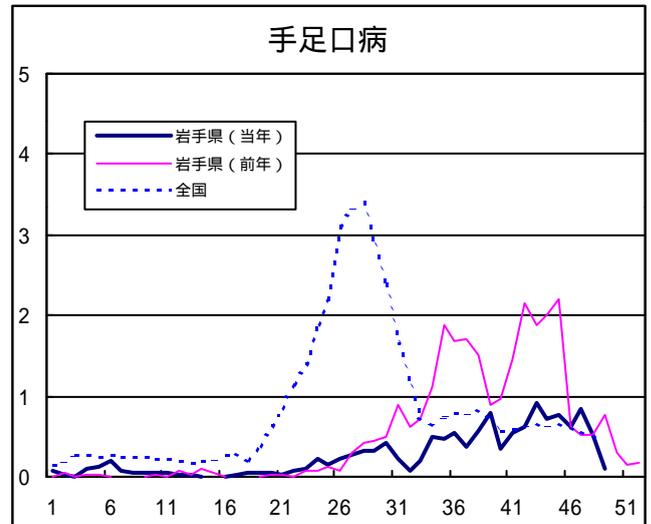
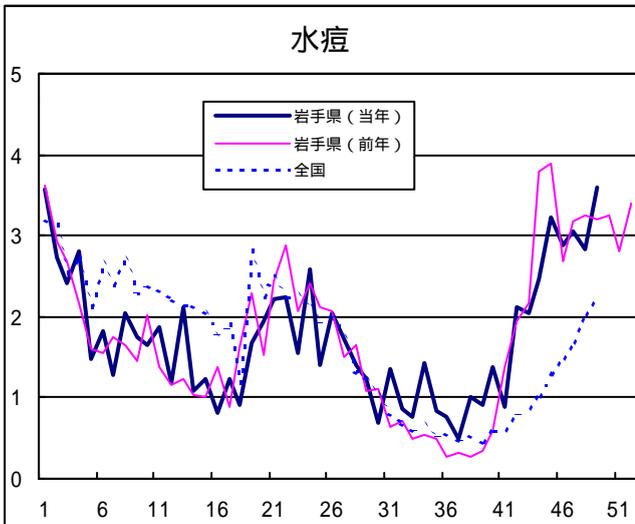
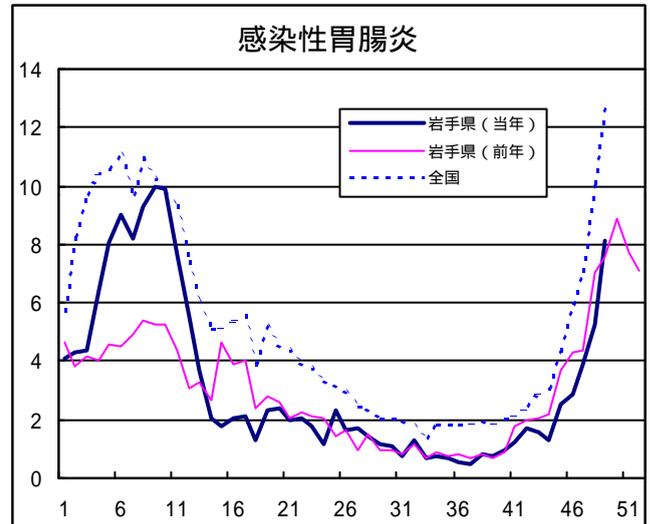
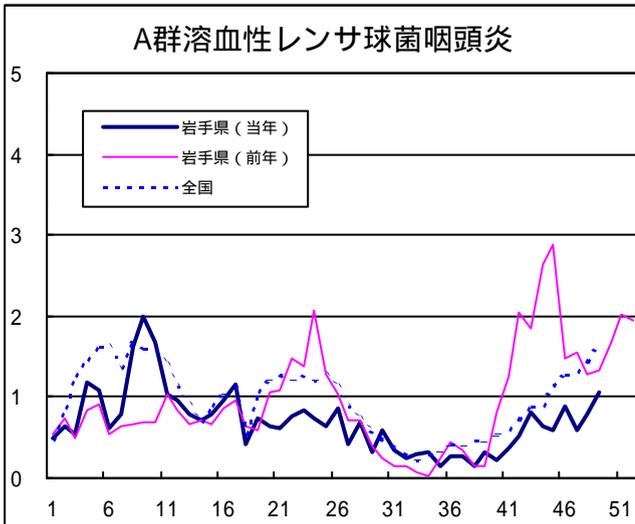
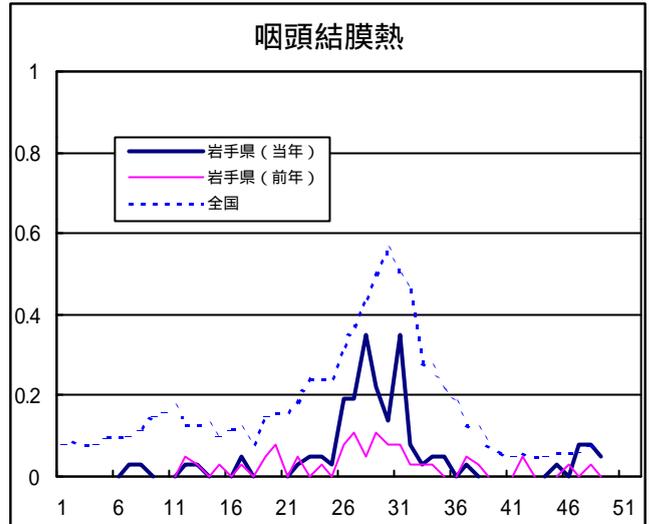
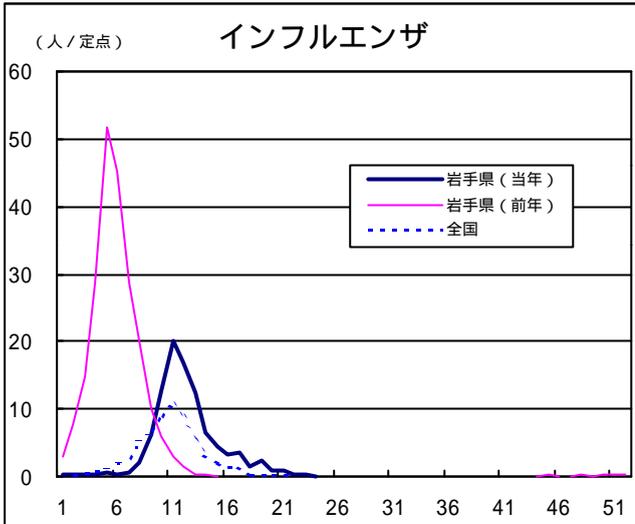
Q & A

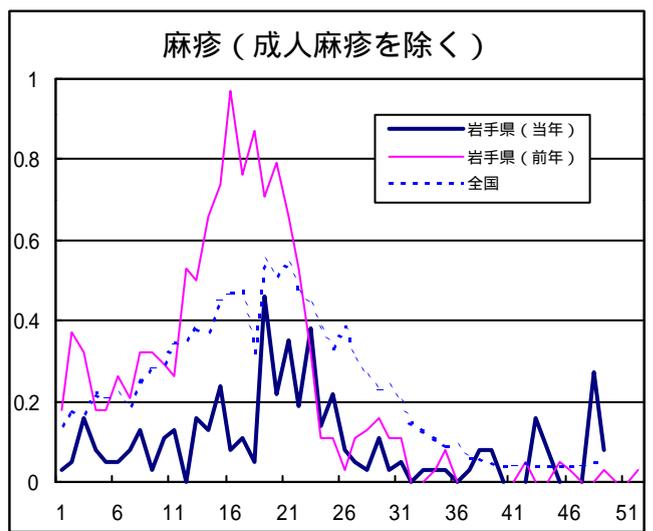
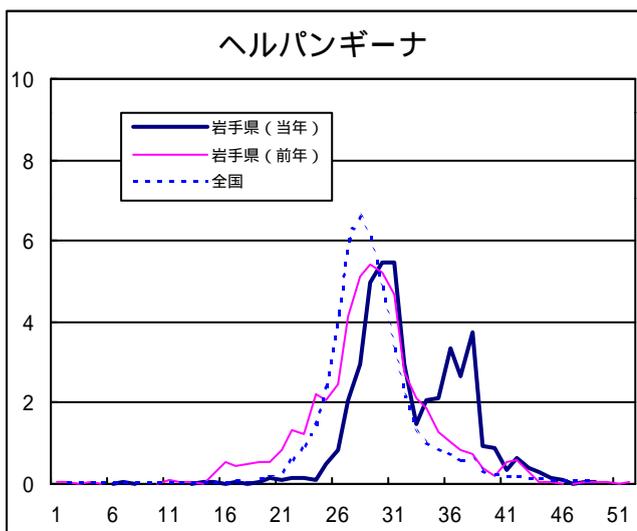
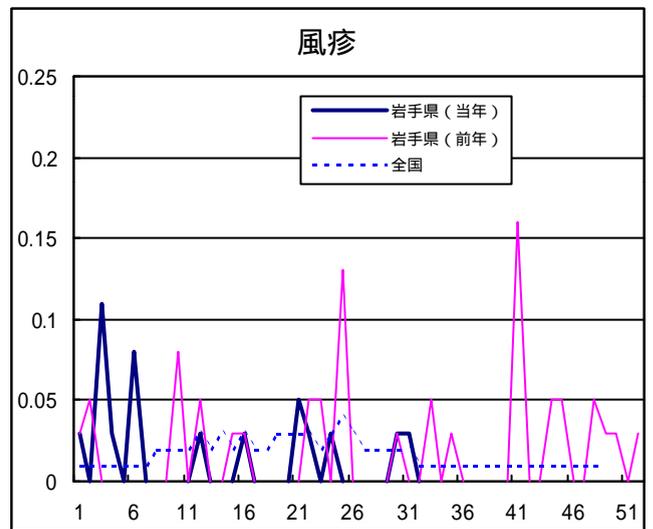
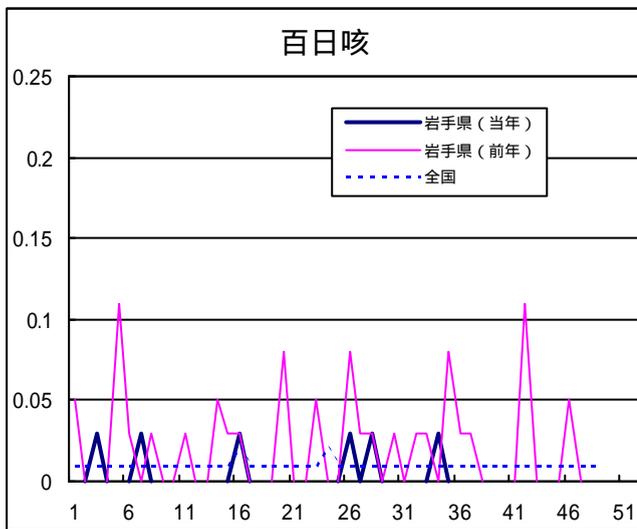
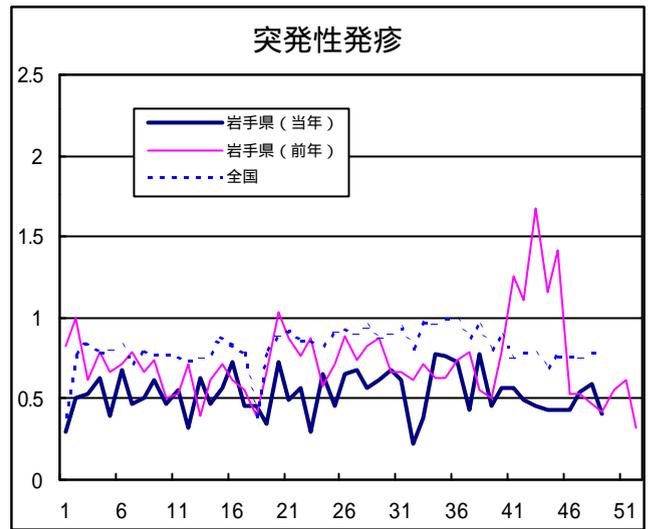
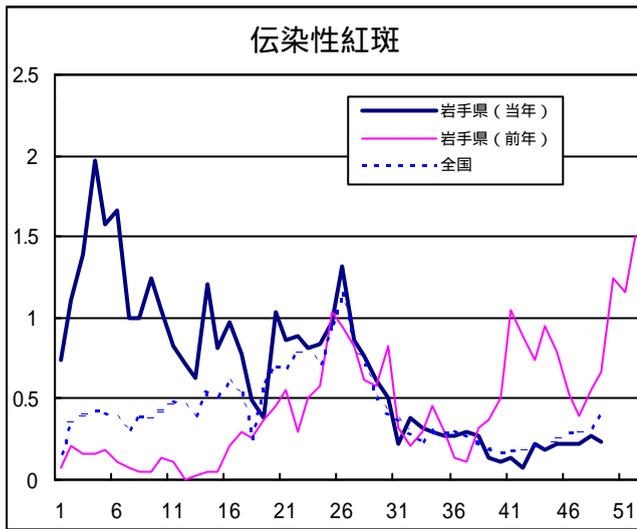
読者の皆様からのご質問をお受けしております。

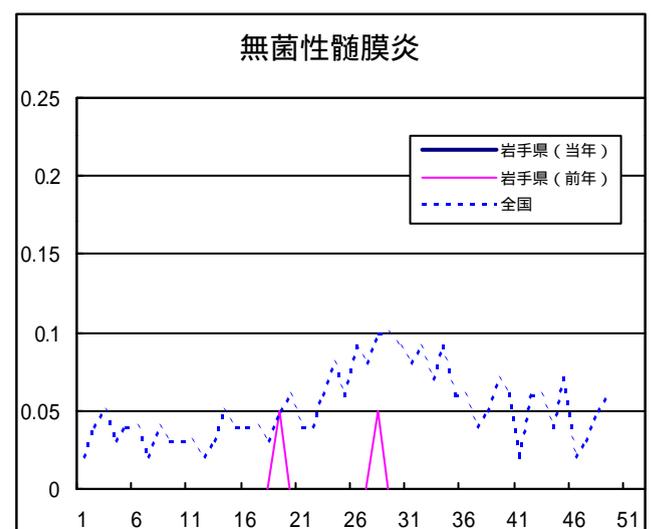
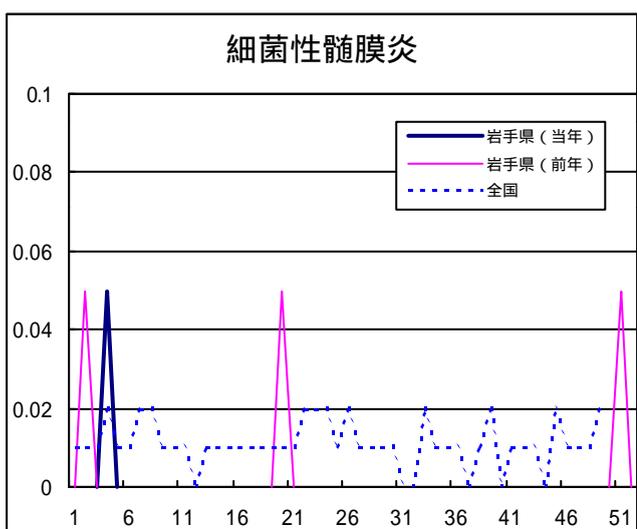
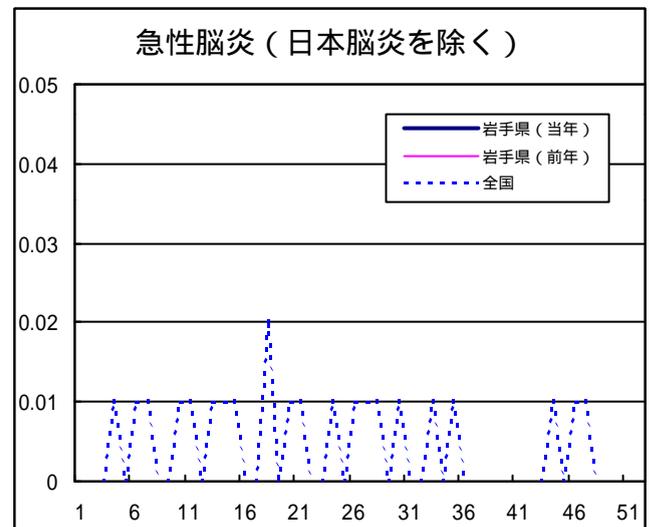
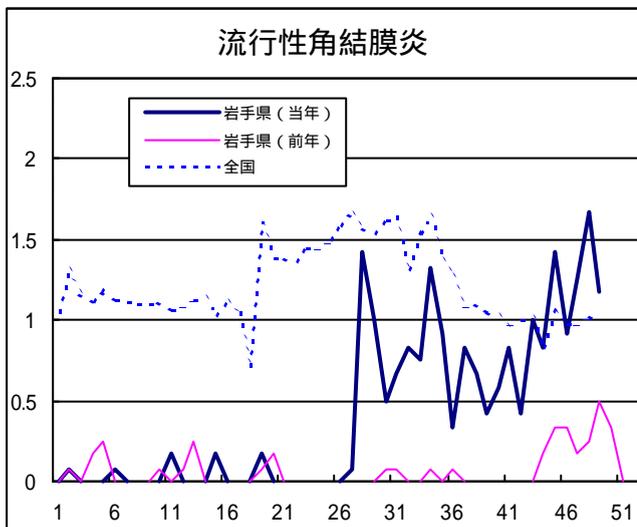
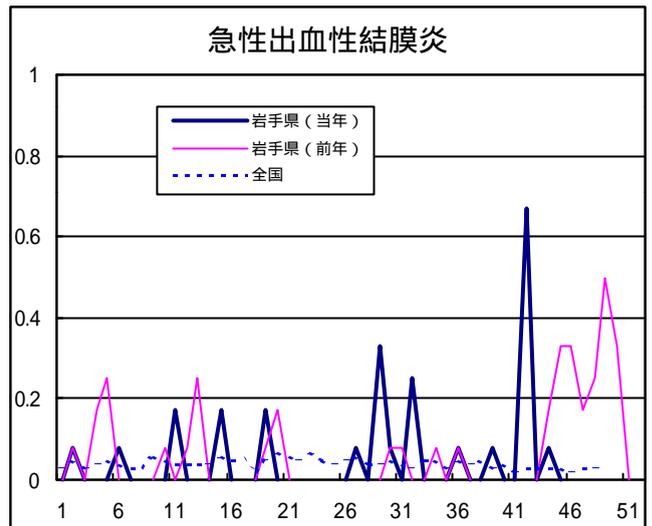
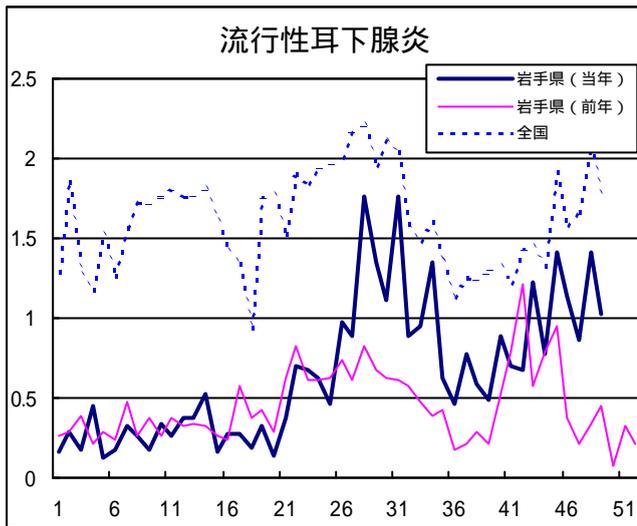
お寄せいただいたご質問につきましては、この欄でお答えします。

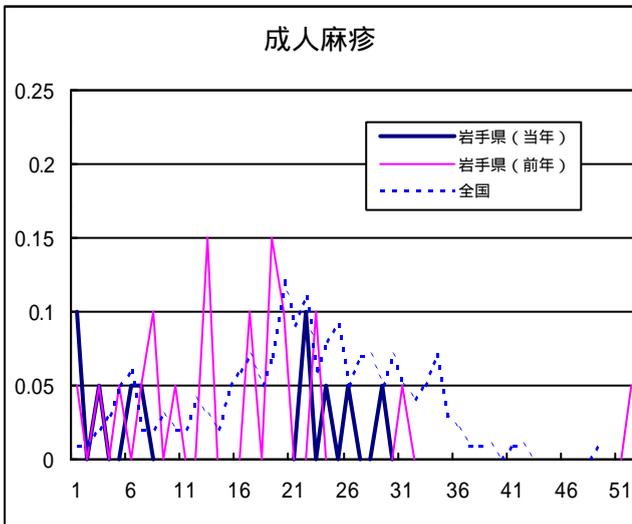
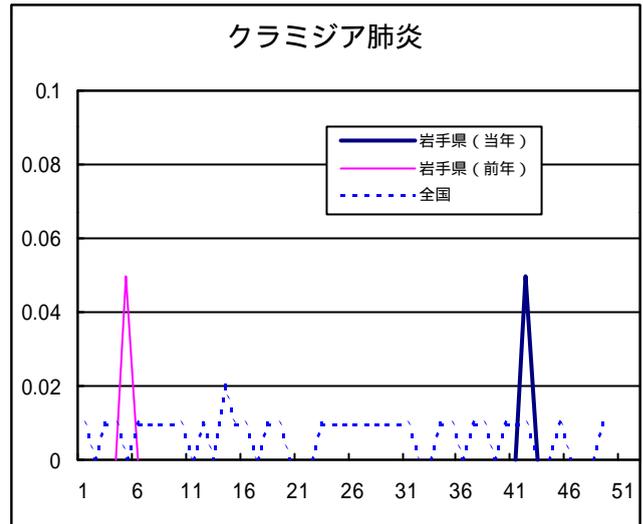
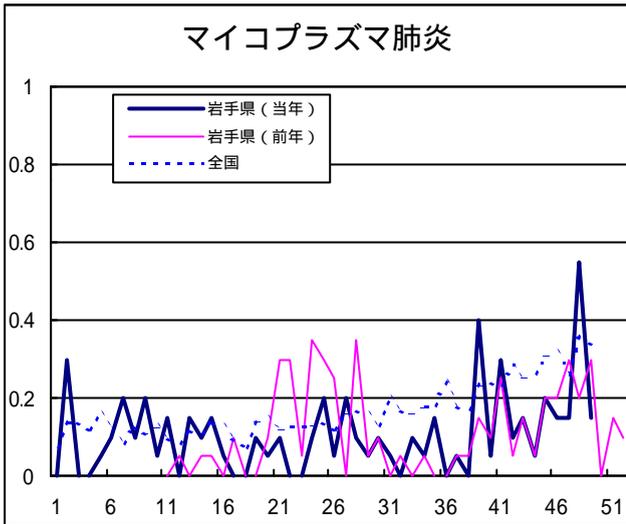
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@sv01.sg.perf.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	61	37	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	4	2	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手県感染症週報 平成13年第49週 平成13年12月14日発行

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@sv01.sg.perf.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県結核・感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/

<岩手県保健福祉部保健衛生課>